

田迎の史跡めぐり

シリーズ⑳

八反田薬師堂、地藏堂

田迎小学校の東側、田迎老人憩いの家の裏にあり、薬師堂には両手に薬壺を持った木造、金箔を塗った薬師如来座像がある。これはいつ頃の創建か判らない。

薬師堂の左に並んで地藏堂がある。

中に木造りの立像で彩色の名残りがみえる地藏尊がある。

錫杖や左手首は欠けて、永年の年月を経たことを

国郡一統志 (二六六九年) にも出ているから、三百年をこえたものであろう。

二つの堂の前に幹周り二三九センチメートルの熊本市指定保存木の銀杏がある。

たむかえ散歩よび



晴天に恵まれた平成二十二年九月四日、田迎神社奉納子ども宮相撲大会を一・五町内で行いました。

当日は残暑厳しい中にもかかわらず、早朝から宮総代の方々、消防団の方々ははじめ自治会の皆さんにご協力いただき、開催することができました。境内にわずか一時間程で立派な土俵が出来上がっていくのには驚きました。

その立派な土俵の上で、

宮相撲を終えて

田迎五町内子ども会長

緒續美智子

最初は赤ちゃん相撲を行いました。一・五町内に住む一歳未満の赤ちゃんを募り、今年九名の参加がありました。お母さんと離れて泣いてしまう赤ちゃんもいれば堂々とした表情の赤ちゃんもいて、会場をとっても和ませてくれました。

その後、就学前と小学生の子ども達の取組です。子ども達は生き生きとした表情で一生懸命頑張っていました。子ども同士の対戦では、どうしても押し出しで勝敗が決まることが多いのですが、時々違う決まり手が出る、観客の皆さんの歓声も一際大きくなりました。五人抜き部の部では、三年生の高本大智くんが優勝しました。

この宮相撲大会は、田迎地区に何十年も続いている行事だそうです。核家族化



が進んだ現在でも毎年開催できるのは、地域の皆さんの協力のおかげだと改めて感じました。

子ども達にとっても、土や縄の感触を裸足で感じる、また友達とお互い体をぶつけ合って遊ぶ機会はなかなかありませんので、良い経験になったと思います。

まちづくり委員会による

十二月八日(水)午前十時から、まちづくり委員会(前田昇一会長)主催による、花苗の植栽が行われた。今回は、まちづくり委員

花苗の植えかえ

会の年間行事の一つとして行っている「花の輸送動の一環」として冬の花苗(パンジー)の植え込みが実施されたものである。

八日の午前十時に出仲間公民館に集合し、花苗、肥料、堆肥を各町内に運び、プランターを植えかえる作業を行い、今までの古い花をパンジーに植えかえる作業を町内ごとに行ったものである。



当日は、東病院前やコスモス薬品の前に集合した地元住民は、花苗の植えかえの作業を行った。この日は、急に気温が下がった寒い日であったが、各町内で二十名以上の住民の方々が集まって植えかえを行った。

植えかえをするプランター

不心得な犬の飼い主への苦言

市営団地横の通学路を通うたら、犬の糞を踏みつけてあった。時々見かけることなのだ。踏みつけた人が気の毒であり、犬の飼い主を腹立たしく思った。

道路は犬の糞の場所ではない。

それに、道路の犬の糞は、見た目にいやであり、不衛生の上も無い。道路の犬の糞は、住民にとっては甚だ迷惑である。

また糞を持ち帰る用具を持たなかったり、夕間に粉れて犬の散歩をして糞を持ち帰らない等の不届き者を見るにつけ、飼い犬の糞の世話もで

きないのかと非常に腹が立つ。

極論だが、ペットの糞の世話をしないう飼い主は、飼う資格がないことを肝に命ずるべきである。飼い主の自覚を促したい。また、ペットの糞の持ち帰りができない人には、住民も遠慮なく注意しよう。

田迎校区では明るいまちづくりの目標の一つに、ペットの糞の持ち帰りを掲げている。

飼い主が犬の糞の持ち帰り、他に迷惑をかけないという社会生活のルールを守るのが、明るいまちづくりの第一歩である。

(出仲間の住民 匿名希望)



は町内一ぱいに広がっていて、大仕事である。

二、三町内の住民は東病院前や二町内の道路沿いに設置されているプランターの植えかえ。一・五町内はコスモス薬局前に集合し、各箇所へ置かれていた全てのプランターの植えかえを行った。今回、植えかえられた花苗(パンジー)は三月になれば、すばらしい花を咲かせて、田迎の町を花いっぱいにしてくれる事であろう。

県代表として全国大会へ

平成二十二年十二月二十五日から二十八日にかけて第二十四回全国都道府県対抗中学バレーボール大会が大阪市中央体育館に於いて開催される。

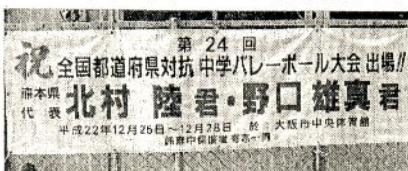
熊本県代表として託麻中学校の

北村 隆君
野口 雄直君

がバレー大会に出場している。熊本県の代表として活躍してくれるものと思われる。

地元住民として誇りである。大いに声援を送りたいものである。

がんばれ！託麻中バレー部。



編集後記

◎平成二十二年は、いろいろお世話になりました。来年もよろしく、お願い致します。

◎いよいよ新幹線も走りだします。皆様方も、よい年をお迎え下さい。

◎まだ寒い日が続きます。体調に気をつけて、お暮し下さい。来年がよき年になりますように。

◎次号は、来年の三月に発行します。